

「キリングroup多様性推進プラン （“KIRIN Diversity, Equity and Inclusion Plan”）」を策定

～3つの柱からなる新たな多様性推進戦略を策定し、「多様な人財と挑戦する風土」の実現を加速～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、多様な人財が最大限の能力を発揮できる環境を整備し、イノベーションを加速させるため「キリングroup多様性推進プラン（“KIRIN Diversity, Equity and Inclusion Plan”）」を策定しました。

キリングroupでは、2019年に長期経営構想「キリングroup・ビジョン 2027（KV2027）」を策定し、「世界のCSV[※]先進企業となる」ことを目指しています。その中で「イノベーションを実現する組織能力」の1つとして「多様な人財と挑戦する風土」を掲げています。

近年、外部環境変化の激しい不確実性が高い時代に突入しており、グループを取り巻く事業環境も厳しさを増しています。このような状況において、食から医にわたるユニークな事業ポートフォリオを持つキリングgroupが持続的に成長するためには、「人的資本経営」を実践し、CSV経営に共感する多様な人財が、個々の可能性を最大限に発揮してイノベーションを加速させる必要があります。

※ Creating Shared Value。社会と共有できる価値の創造

このような背景を受け、当社ではイノベーション実現の推進力である多様性を、改めて人財戦略の重要な取り組みと位置付けました。今後は「Diversity」「Equity」「Inclusion」の3つの柱からなる新たな「キリングgroup多様性推進プラン」に沿って、「多様な人財と挑戦する風土」の実現を加速していきます。

【キリングgroup多様性推進プラン（“KIRIN Diversity, Equity and Inclusion Plan”）】

■ キリングgroupが多様性推進を通じて目指す姿

従業員一人一人が多様な視点や価値観を発揮できる環境を整え、互いに受容し合うことを通じて、多様な人財が持つ可能性が最大限に発揮され、イノベーションを加速している状態

■ 「キリングgroup多様性推進プラン」の3つの柱

- ・「Diversity」：人財の属性を多様化する × 個々の視点／価値観を多様化する
- ・「Equity」：多様な人財の活躍を阻む障壁を解消する
- ・「Inclusion」：多様な視点／価値観の違いを受け止め、その違いを生かす

■ 行動目標

- ・「Diversity」：多様な人財の採用を推進するとともに、女性の経営職へのチャレンジの促進などを通じて、意思決定層の多様性を拡大する。社内外の資源を活用し、従業員の自律的な成長やキャリア形成を促すことを通じて、新たな視点・価値観の獲得を支援する。
- ・「Equity」：多様な人財の活躍・挑戦の支援を目的に、属性ごとに活躍を阻む障壁を解消する方向性を定め、取り組みを進めるとともに、多様な人財の特性やアンコンシャス・バイアスへの理解を促進する。
- ・「Inclusion」：心理的安全性の高い組織づくりと「違いを力に変える」の実践を推進する。

■ 2023年の主な取り組み（国内グループ会社が対象）

- ・「Equity」の加速のため、「Equity」の観点からの制度改正、男性の育休取得促進、経営職を対象としたアンコンシャス・バイアストレーニング、プライド月間（6月）などを実施する。
- ・「心理的安全性の高い組織づくり」のため、経営職を対象とした研修や、グループワークなどを実施する。

キリングgroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>